

# 町田市保育サービス3ヵ年計画(2009年度～2011年度)

町田市では、保育サービス充実に向け、2004年度から2008年度の5年間の施設整備等により、470人(※1)の定員増を図ってきたところですが、2009年4月の待機児童は417人と大幅な増加となりました。また、国立社会保障・人口問題研究所及び町田市が作成した人口推計によると、それぞれにおいて未就学児童の人口は明らかに減少傾向にあります。

このような状況の中で、子育て支援施策の保育サービス、特に待機児童解消の取り組みを強化するため、幼稚園単独型・認定こども園も含み、2011年度までの施設整備計画を作成しました。

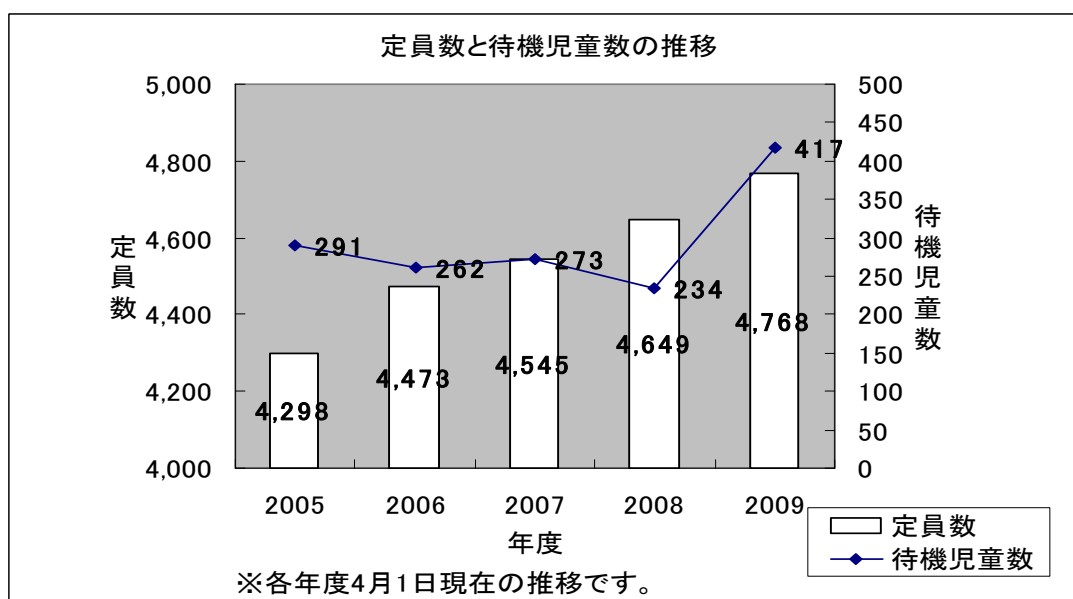
※ 1：内訳は認可保育所313人、認証保育所121人、家庭福祉員8人、幼稚園年齢区分型・認定こども園(認可外保育施設)28人

## 1 町田市の待機児童の状況

### (1) 待機児童の推移

町田市における待機児童数の推移は、2005年度より2008年度まで、200人台の中で全体的には減少傾向にありました。しかし2009年度になり、不況による共働き世帯の増加等の要因から、待機児童は417人と大幅な増加となりました。

年 度	2005	2006	2007	2008	2009
待機児童数(人)	291	262	273	234	417
対前年度増減(人)	△11	△29	11	△39	183

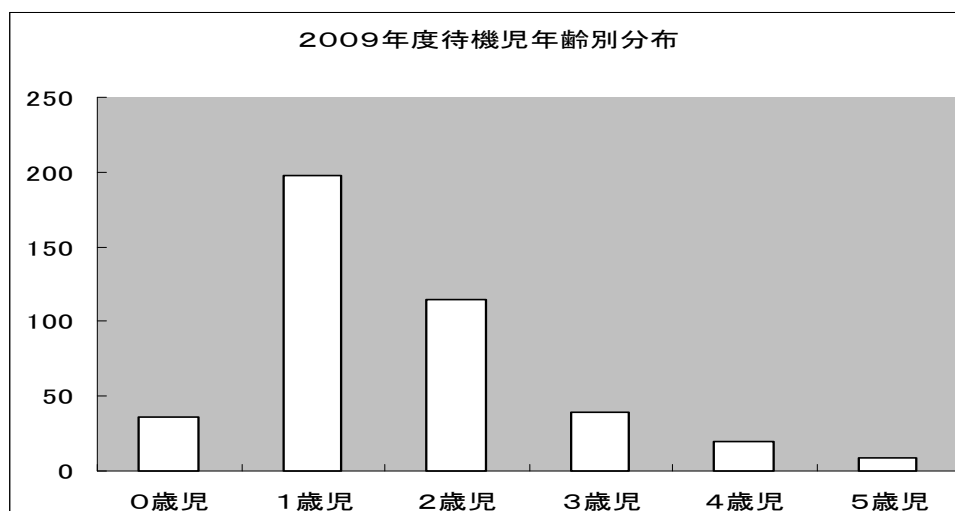


## (2) 年齢別待機児童

待機児童を年齢別に分析すると、1歳児・2歳児が全体の約70%前後を占めていることがわかります。

年齢別待機数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2009年度	36	198	115	39	20	9	417
比率 (%)	9	47	28	9	5	2	100
2008年度	29	100	51	37	12	5	234
比率 (%)	12	43	22	16	5	2	100

※ 上記の比率は、待機児童数に対する、その年齢の割合をパーセントで表示したものです。



## (3) 地域別待機児童

地域別待機児童は地区による差はありますが、年度により地区の人数に変化があるため、一定ではありません。

年度	南地区	鶴川地区	忠生地区	町田地区	堺地区
2008	32	60	37	27	78
2009	105	85	80	79	68

## (4) 保育サービス提供率の状況

東京都が発表した都内の市町村別待機児童の状況では、2009年4月1日現在の保育サービス提供率(※1)は都内の平均が31.4%に対し、町田市は21.7%の状況にあります。

※1 保育サービス提供率：未就学児童数に対する、認可保育所、認証保育所、契約保育室、家庭福祉員、幼稚園年齢区分型・認定こども園(認可外保育施設)の合計の割合。

## 就学前児童人口上位10区および10市の保育サービス定員・保育サービス提供率 一覧表

区市名		2009/4/1				2008/4/1				
		就学前 児童人口	保育 サービス 定員	保育 サービス 提供率	待機 児童数	就学前 児童人口	保育 サービス 定員	保育 サービス 提供率	待機 児童数	
人口 上位 10 区	1	江戸川区	38,059	11,079	29.1%	238	38,745	10,678	27.6%	202
	2	世田谷区	37,588	8,553	22.8%	613	36,941	8,183	22.2%	335
	3	練馬区	34,235	8,868	25.9%	429	34,413	8,660	25.2%	254
	4	足立区	31,503	9,918	31.5%	418	31,414	9,829	31.3%	205
	5	大田区	30,992	9,385	30.3%	314	31,144	9,267	29.8%	242
	6	板橋区	23,664	8,658	36.6%	481	23,644	8,493	35.9%	236
	7	江東区	22,814	7,745	33.9%	312	22,244	7,068	31.8%	219
	8	杉並区	20,507	5,596	27.3%	137	20,116	5,514	27.4%	88
	9	品川区	15,207	4,697	30.9%	123	14,821	4,518	30.5%	115
	10	北区	12,798	5,014	39.2%	88	12,573	4,955	39.4%	49
人口 上位 10 市	1	八王子市	27,308	9,308	34.1%	453	27,279	9,108	33.4%	331
	2	<b>町田市</b>	<b>22,008</b>	<b>4,768</b>	<b>21.7%</b>	<b>417</b>	<b>22,119</b>	<b>4,649</b>	<b>21.0%</b>	<b>234</b>
	3	府中市	13,519	3,854	28.5%	301	13,581	3,733	27.5%	188
	4	調布市	11,134	3,031	27.2%	221	10,872	2,828	26.0%	204
	5	日野市	9,268	2,872	31.0%	136	9,379	2,840	30.3%	98
	6	小平市	9,240	2,253	24.4%	96	9,278	2,248	24.2%	57
	7	立川市	9,057	3,259	36.0%	93	9,080	3,199	35.2%	126
	8	三鷹市	8,520	2,448	28.7%	192	8,501	2,415	28.4%	134
	9	東村山市	7,517	1,721	22.9%	147	7,467	1,720	23.0%	121
	10	多摩市	7,242	2,362	32.6%	176	7,178	2,293	31.9%	112
都内区市町村合計		594,272	186,311	31.4%	7,939	591,604	181,682	30.7%	5,479	

※この表は、東京都のホームページから抜粋し、町田市保育サービス3カ年計画用に調製したものです。

## 2、町田市の未就学児童数の推移

2007年度に町田市が作成した将来人口推計によると、未就学児童の推移は減少傾向にあります。また、2008年12月に発表された国立社会保障・人口問題研究所の推計においても、町田市の年少児童数は明らかに減少傾向となっています。

しかしながら、この傾向の中でも、保育所入所申込み件数は増加傾向にあります。

### 3、町田市の保育サービス提供率目標値の設定

国では、2008年2月に発表された「新待機児ゼロ作戦」により、0～2歳児を対象とした保育サービスの提供率を2008年度の20%から、2018年度には38%へ引き上げることを目標としています。

また、東京都では、2007年12月に発表された「子育て応援都市東京・重点戦略」により、0～5歳児の未就学児童を対象とした2008年度～2010年度の3年間の保育サービス緊急3ヵ年事業が計画され、保育サービスの提供率を2007年4月の30.6%から、2011年4月は33.1%に引き上げることを目標としています。

町田市では、東京都の計画を参考に次のとおり目標値を設定します。

- ①東京都は4年間で保育サービス提供率を2.5%アップさせるとしていますが、町田市は、都の2倍強の6%アップを目標とします。
- ②町田市における2008年4月1日の保育サービス提供率は21%で、2012年4月の目標数値を27%とします。

### 4、町田市の保育サービスの具体的な計画

20年間期間限定認可保育所事業を中心として、2009年4月から2012年4月までの3年間で**1,180人**の定員増を計画します。ただし、「保育室」の「認可保育所」への移行及び家庭福祉員の廃止に伴う17人の定員減があり、実質的には、**1163人**の定員増計画となります。

#### (1) 保育施設別の計画

- ①20年間期間限定認可保育所の新設・・・合計目標数値**916人**の保育定員増員

2009年度	6園公募	492人定員増
2010年度	5園公募	265人定員増
2011年度	3園公募	159人定員増

- ②既存認可保育所の増改築および増築・・・合計目標数値**79人**の保育定員増員

建設より30年が経過し、老朽化が進んでいる認可保育園について、保育環境の向上と待機児童解消を目的として、施設の建て替えを進め、10人～30人程度の増員を図ります。

また、敷地に余裕のある認可保育所を対象として定員増を目的とした園舎増築整備の公募を行います。

2009年度	増改築1園～ひかりの子保育園	・2010年4月	9人定員増
	増築1園～桜台保育園	・2009年5月	10人定員増
	定員増1園～森野三丁目保育園	・2010年4月	10人定員増
2010年度	増築2園公募		20人定員増
	増改築1園～大蔵保育園	・2011年4月	30人定員増

## (2) 1歳児及び2歳児の待機児童対策

1歳児からの入所を対象とする20年間期間限定認可保育所の新設(計画定員は4の(1)保育施設別の計画①参照)をはじめ、0～2歳の低年齢児を対象とした認可保育所分園の新設、0～2歳児を対象とした事業である家庭福祉員制度を有効に活用し、待機児童が多い年齢層である1歳児及び2歳児の定員増対策を進めます。

### ①認可保育所分園の新設・・・合計目標数値104人の保育定員増員

2010年度	2園公募	52人定員増
2011年度	2園公募	52人定員増

### ②家庭福祉員の増員・・・合計目標数値81人の保育定員増員

2009年度	家庭福祉員	3人公募	・2009年9月	11人定員増
2010年度	家庭福祉員	10人公募		50人定員増
2011年度	家庭福祉員	4人公募		20人定員増

## (3) 幼稚園単独型・認定こども園の計画

「幼稚園単独型・認定こども園」について、町田市独自の新たな施策として設置を促進し、就学前の教育・保育のニーズに対応する選択肢を拡大します。

計画については、別紙1「幼稚園単独型・認定こども園設置促進事業について」のとおりです。

### ①幼稚園単独型・認定こども園の新設・・・幼稚園の定員のうち、「幼稚園単独型・認定こども園」分として、合計目標数値432人を予定します。

2009年度	10園公募	240人定員
2010年度	5園公募	120人定員
2011年度	3園公募	72人定員

\*なお、「幼稚園単独型・認定こども園」の定員は、保育所待機児童数からの控除はありません。

## 5、町田市保育サービス3ヵ年計画に係るランニングコスト

法人立認可保育所の入所児童1人当たりの年間運営費支弁額は2008年度実績で約150万円であり、その財源内訳は、国29万円(19%)、都38万円(25%)、市65万円(44%)、保護者18万円(12%)となっています。

「町田市保育サービス3ヵ年計画」では、2009年4月から2012年4月にかけて、1,180人の定員増を目指す予定で、新たな市負担額は、認可保育所分が約7億1435万円、家庭福祉員分が約7893万円、合計約7億9328万円が見込まれています。

一方、保護者負担については、国の行政刷新会議の事業仕分けでも議論され、高額所得階層に係る保育料徴収基準額の引き上げや、制度全体の見直しなどについて、検討が求められています。また、税制改正による所得税額の改正も予定されていることから、適正な保護者負担も含めた検討が必要です。

なお、町田市における2008年度認可保育所の定員及び運営費については、法人立の保育所が40園、定員3,633人で、市立の保育所が9園、定員765人となっており、決算数値では、その運営費総額は、法人立認可保育所40園合計で60億3930万円、公立保育所9園合計で14億3428万6000円となっています。

子育て支援施策の主要な柱である保育事業は、公共サービスとして多額な公費負担を要し、財源的にも児童1人当たりの年間運営費で見ると、法人立認可保育所の場合、その支弁額約150万円のうち、国と都の負担額67万円と比べ、ほぼ同額となる65万円の市負担を行うなど、保育料のみならず、制度の抜本的見直しが課題となっています。